



高知県中学校勢初！ 剣道日本一 東野一成さん(野市町)



8月19日(金)～21日(日)長野市真島総合スポーツアリーナで第46回全国中学校剣道大会が開催され、高知県代表として高知中学校3年の東野一成さん(野市町)が出場、高知県勢史上初の優勝を手にしました。

取材：生涯学習課

東野一成さん



県勢初の快挙

初戦は緊張で身体が動かなかったそうですが、順調に4回戦まで勝ち進み、準々決勝では攻防中に相手が竹刀を落としての反則勝ち。この時「打って勝ちたかった」とのこと。長い試合となった準決勝では、緊張はしていたが、だんだん身体が動くようになり、鮮やかな面が決まり勝利。決勝では体格の上回る相手に対し、「気迫では絶対に負けない」と強い気持ちで臨みました。相手の仕掛けに対し、鋭い引き面を決めての優勝。「思い切った試合ができた」と振り返ります。

原動力となったこと

「兄を超えたい。それが原動力だった。2年前、全中で兄が活躍し、個人8強になった姿を見て感じた」とのこと。父親と兄も剣

士で、6歳ごろから気づいたら竹刀を握っていたそうです。小学生時代は、山田少年剣道教室で基礎を養い、小学6年の時に県大会の団体戦で優勝。中学1年、2年時では目立った成績を残せなかったそうですが、それでも厳しい練習を続けながら、帰宅後も試合の映像を見るなど研究を続けました。

もっと強い剣士に

現在、学校では通常の練習に加えて早朝練習、高校生やOBの胸を借りての練習を行っている東野さん。技術はもちろん、強い相手にひるむことなく向かっていく精神力を養うことができそうです。

父親の淳(あつし)さんは、高知高校剣道部の監督で中学生も指導しているため、日頃の会話でも、緊張を解く方法を学んだり、試合運

びのシミュレーションができることも強さの源かもしれない。

高校生となる来年からの目標は「高校1年からレギュラーになって、インターハイを目指す」とのこと。今後、一層期待がもてる剣士として注目です。



▲大会で剣道部の仲間たちと

編集後記

▼登下校中、近所の人とよくあいさつを交わっていた子ども時代。大人になり、今度は我が子が近所の人から気に掛けてもらっていた。親から子へ引き継がれるお付き合ひ。有り難い(猪)

▼剣道の東野くんの写真撮影のため高知学園へ。実はボクの高知時代の母校です。〇〇年ぶりの坂道や自転車置き場は変わってなく、ちよととしたタイムスリップ気分ではうり(た)

▼スポーツの秋。大学時代まで毎日のようにしていた野球も今では月2日程度に。そのままではまずいと思い、夜にランニングを始めました。しかし、その分食べてしまう食欲の秋。(り)

▼「ふるさと納税」ってお得なの？ 寄附した人も、自治体も事業者や生産者も、みんな喜ぶってホント?! 「ふるさと納税」で香南市を元気に！ 詳しくは4.5ページをご覧ください。(あ)

《広報へのメール》

kouhou@city.kochi.konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi.konan.lg.jp

マチイロ
スマホで
広報を見よう
「i広報紙」はアプリ名称が「マチイロ」になりました。